



■ 公開シンポジウム ■

# 食と暮らしのものがたり — テロワールを活かす —

和歌山における「食と暮らし」の活性化をめざしたシンポジウムです。「作る」、「つなぐ」、「食べる」、「活かす」のテーマを設定し、それぞれのテーマに関係の深い研究者と経営者等を講演者としてお招きして、最新の研究成果や取り組みを紹介していただきます。

「活性化」には、人と情報が重要です。本シンポジウムの狙いは、消費者が研究者や経営者らの試行錯誤から成り立った現在の状況を知ること、生産・流通・消費の一連の流れを理解することや、経営者に新しい情報や成功事例、講演中の聴講者の雰囲気を感じ取って次のビジネスに結びつく機会を提供することにあります。「食と暮らし」に関心を寄せる人が集まり、情報を共有できれば、「活性化」への一歩を踏み出すことに繋がります。

本シンポジウムでは、市民と専門家の垣根を取り払い、「食と暮らし」に興味をお持ちの皆さまが、研究者の視点と経営者の視点を同時に味わえるわかりやすいシンポジウムをめざしています。

2017年1月21日  
9:30 - 16:25  
開場9:00

和歌山大学  
松下会館

和歌山大学地域連携・  
生涯学習センター

〒641-0051 和歌山市西高松 1-7-20

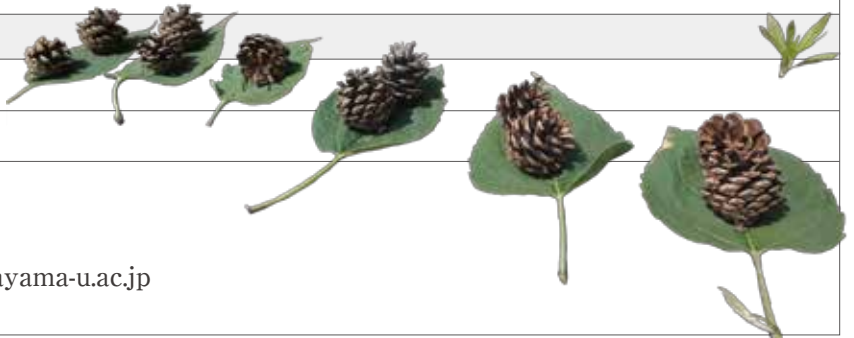
入場無料・申込不要

主催：和歌山大学食農総合研究所、総合地球環境学研究所「砂漠化をめぐる風と人と土」プロジェクト

# 食と暮らしのものがたり - テロワールを活かす -

## プログラム

9:30	開会挨拶・趣旨説明
9:45	田中樹 総合地球環境学研究所 教授 暮らしの向上や災害対処、生態環境の保全をぜんぶかなえる?! -ベトナム中部の事例から-
10:35	— 休憩 —
10:50	井狩篤士 株式会社イカリファーム 代表取締役 「生き残る農業経営」の実践!
11:20	岸上光克 和歌山大学地域活性化総合センター食農総合研究所 准教授 野菜・果物の流通事情
11:50	— 昼休み —
13:00	石山俊 総合地球環境学研究所 プロジェクト研究員 / 三村豊 総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター研究推進支援員 家族で語る I ターン：綾部の半農半蕎麦、安喰さん一家の座談会記録より
13:30	吉川誠人 NPO 法人にこにこのうえん 理事長 / 株式会社紀州まちづくり舎 代表取締役 まちを元気に！紀州まちづくり舎の取り組み
14:00	— 休憩 —
14:20	土田高史 山本勝之助商店 代表 和歌山県産ぶどう山椒の海外展開と新規利用法開発
14:50	植田淳子 和歌山大学食農総合研究所 特任助教 人と地域を活かす グリーンツーリズム
15:20	— 休憩 —
15:40	総合討論
16:20	閉会挨拶



問い合わせ先  
和歌山大学教育学部 准教授 荒木良一  
TEL: 073-457-7324 E-mail: raraki@center.wakayama-u.ac.jp